

東温市 高齢者の肺炎球菌感染症予防接種 説明書

この説明書をよくお読みになり、予防接種の必要性や副反応について理解しましょう。
気になる点や不明な点があれば医師に質問し、十分に納得した上で接種を受けましょう。



高齢者の肺炎球菌感染症とは

- 肺炎球菌感染症とは、肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、唾液などを通じて飛沫感染します。
- 日本人の約3～5%の高齢者では鼻や喉の奥に菌が常在しているとされています。これらの菌が何らかのきっかけで進展することで、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。



定期接種の対象者

東温市に住所を有する方で下記に該当する方

- ①**65歳**の方（66歳のお誕生日の前日まで接種可能です）
- ②60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓又は呼吸器の機能に日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する人及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する人

※**ただし、過去に接種したことがある人は除きます。**

（注意！）2回目以降の接種は任意接種となり、全額自己負担となります。



接種場所

愛媛県内の予防接種実施医療機関に、事前にお問い合わせ下さい。

<参考>東温市内 実施医療機関

医療機関名称	所在地	電話番号
池川内科・神経内科	志津川89-3	089-964-7787
石川小児科	横河原337-1	089-955-0333
いずみ内科循環器クリニック	志津川南1丁目1-2	089-961-1195
愛媛十全医療学院附属病院	南方561	089-966-5011
このはな脳とこころの診療所	北野田820-1	089-955-5087
こばやし内科クリニック	野田2丁目102-2	089-960-5311
さとう耳鼻咽喉科クリニック	志津川1560-1	089-990-1133
たけもと整形外科クリニック	野田2丁目100-2	089-955-5888
辻井循環器科内科	田窪2030	089-964-0013
辻整形外科クリニック	北方2880-1	089-960-6555
中野クリニック	志津川1577-1	089-960-5800
西野内科クリニック	牛淵1073	089-964-2200
西本整形外科	田窪303-1	089-964-1611
春香メンタルクリニック	志津川179-14	089-993-7710
藤本内科クリニック	横河原1301-3	089-960-5500
八木耳鼻咽喉科・皮膚科医院	牛淵1156-1	089-964-5400
山本内科胃腸科	北方3205-3	089-966-2066

お問い合わせ先

東温市総合保健福祉センター内 東温市健康推進課 TEL：089-964-4407



接種時に持参する物

- ①予防接種予診票（お誕生月の月末に送付いたします）
- ②接種費用 4,000円
- ③身分証明書

※予診票を紛失された方は、表面下部の窓口 又は 川内健康センターでお渡しします。

※生活保護世帯の方又は中国残留邦人等の支援給付を受けている方は、東温市福祉事務所の発行する証明書を、医療機関に提出していただくと、接種費用が免除になります。



ワクチンの予防効果

肺炎球菌には90種類以上の血清型があり、定期接種で使用する「[23価肺炎球菌ワクチン](#)」は、そのうち23種類の血清型を対象としたワクチンです。接種後3週間で抗体ができ、効果持続期間は健康な成人で5年以上とされています。ただし、肺炎の原因は肺炎球菌だけではないため、全ての肺炎を予防するものではありません。



副反応

- 注射部位：発赤、腫れ、しこり、熱感、痛み、しびれ感など
- 全身：発熱、寒気、頭痛、だるさ、めまい、リンパ節の腫れ、下痢、嘔吐、関節痛、筋肉痛など通常2～3日のうちに治りますが、非常にまれに、アナフィラキシー様反応、ギランバレー症候群、けいれんなどが現れることがあります。



予防接種を受けることができない人

- 明らかに発熱のある人（一般的に体温が37.5℃以上の場合）
- 重篤な急性疾患にかかっている人
- 予防接種後約30分以内にひどいアレルギー反応を起こしたことがある人
- その他、医師が不適当な状態と判断した場合



予防接種を受けるに際し担当医師と相談が必要な人

- 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患のある人
- 今までに免疫不全の診断がされている人及び近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- 今までにけいれんを起こしたことがある人
- 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器疾患のある人
- 接種液の成分に対してアレルギー反応を起こすおそれのある人



予防接種を受けた後の注意事項

- 予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医師（医療機関）と、すぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- 副反応の多くは24時間以内に出現しますので、特にこの間は体調に注意しましょう。
- 入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすることはやめましょう。
- 接種当日はいつもの生活で構いませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- 接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。



副反応が起こった場合

接種後、まれに副反応が起こることがあります。また、接種と同時に、他の病気がたまたま重なって現れることがあります。接種後、接種部位が痛みや熱をもってひどく腫れたり、全身のじんましん、繰り返す嘔吐、顔色の悪さ、低血圧、高熱などが現れたら、医師（医療機関）の診療を受けてください。



健康被害救済制度

極めてまれに重い副反応が生じた場合に、厚生労働大臣が予防接種法に基づく定期の予防接種によるものと認定したときは、予防接種法に基づく健康被害救済の給付対象となります。